



うおつきりん なん 魚付林って何なの

さかな あつ ぎょじょう かんきょう まも しんりん
魚を集めたり、漁場の環境を守るはたらきをする森林

さかな かわ うみ いるので、しんりん さかな い かんけい かんが じつ
魚は、川や海にるので、森林は魚が生きていくのに関係がないと考えがちですが、実
は、じゅうよう やくわり じつじょう
重要な役割をはたしていることが分かってきました。

さかな せいかつ ひと かくち やま き う うんどう ほっかいどう
魚をとって生活している人たちが、各地で、山に木を植える運動をしています。北海道の
ぎょぎょうきょうどうくみあい さかな しよくじゅうんどう さんりくかいがん ようしょく
漁業協同組合では、「お魚をふやす植樹運動」をしていますし、三陸海岸のカキ養殖
ぎょうしゃ みな しよくりんうんどう うんどう にほんぜんこく ひろ
業者の皆さんも、植林運動をしています。この運動が日本全国に広がっています。

しんりん しず かんきょう まも しんりんない ふようど しつ えいようぶん うみ おく
森林は、静かな環境を守るだけでなく、森林内の腐葉土が質のよい栄養分を海に送り、
それによって、さかな た もの プラントンのそだ こうか
魚の食べ物のプランクトンを育てる効果があるということです。これによっ
て、ぎょかいりい かい るい う そだ じゅうよう やくわり
魚介類や海そう類がたくさん生まれ、育つのに重要な役割をはたしているのです。つ
まり、「森林が、魚を育てる」というのです。

ぎょりい あつ ぎょじょう かんきょう まも もくてき ほ ご しんりん うおつきりん
このように魚類を集めたり、漁場の環境を守る目的で保護される森林を、「魚付林」と
いいます。うおつきりん しんりんほう ほうりつ してい ほあんりん
魚付林は、森林法という法律で指定されている保安林の一つです。
げんざい うおつきほあんりん してい ぜんこく やく まん ちか
現在、魚付保安林の指定は、全国で約3万ヘクタール近くあります。

ほあんりん 保安林のねらい

ほあんりん すいがい やま ふせ すいげん かくほ うつく ふうけい たも ほうりつ
保安林とは、水害・山くずれなどを防ぎ、水源を確保し、美しい風景を保つために、法律
ほ ご しんりん のうりんすいさんだいじん ちじ してい
で保護されている森林のことです。農林水産大臣および知事が指定します。

(監修・保岡 孝之)

